

代表質問



施政方針と教育方針



自由民主党湖南省議団 ● 小林 義典 議員

財政面より

問 当初予算を263億円とされているが、社会保障費や扶助費が増える中、事業の縮小や財源がひっ迫する事は無いのか。

答 社会保障費や扶助費が増えると事業の圧縮や財源がひっ迫するリスクが高まる可能性があるが、そのリスクを回避するために、歳出面では市民ニーズに的確に対応した施策への選択と集中を図り、財政の効率化、人件費や委託費の見直し、公共施設の有効活用など財政確保に努め、財政適正化判断比率や長期財政計画にある財政指数などの目標数値を意識しながら、健全な財政を保つことにより、市民サービスの低下を招くことの無いよう財政運営を進めて行きます。

予算方針より

問 最重要事業として、東庁舎周辺整備事業を上げており、歴代市長からの思いも引き継ぎ、前に進めようとしているが、改めて市民の皆様が「なるほど」と思える市長の心の内を聞かせてください。

答 私も含め3人の市長が舵取りを任せられ、その時々々の社会情勢や本市の状況を鑑みながら、本市の未来を描き、時代に沿った政策を打ち立て、個々の施策を進めてきました。庁舎整備事業を決断にあたっては考えることも多くあったが、市民や市議会の皆様から様々な意見を頂いたことにより、多くの方の支えにより前に進めて行く事を実感しています。

施政方針・教育方針について



こなんの未来 ● 奥村 幹郎 議員

「マツカヨカラー」について

問 第三次湖南省総合計画 新庁舎周辺整備について

答 「しぜん」とひとだまりができ、交流が生まれる新庁舎」とし、周辺エリアを一体として位置づけ、広い観点から景観や駐車場、市民の導線の実現を目指し事業を進めています。

要望活動

問 国道1号4車線化について

答 現時点で具体的な事業化の時期が示されていない状況ですが、関係機関と協議を重ね、早期実現に取り組んでいきます。

県道4号改良について

問 これまでも県・甲賀土木事務所に対して、継続的に要望してきました。引き続き早期の

工事着手に向け、粘り強く要望してまいります。

まちづくりセンター等整備計画

問 下田まちづくりセンターについて

答 皆様のご意見をお伺いし、あらゆる人が使いやすい実施計画を進めていきます。

観光と交流による活性化について

問 こどもまんなかプラン

答 おむつやミルク等育児用品を購入できるように、乳幼児一人当たり3万8000円の商品券を保健センター窓口で子育ての状況聞きながらの交付をしています。

その他、教育方針について質問しました。

付事業について

問 こなんママパパ子育て応援クーポン券交付事業について

答 おむつやミルク等育児用品を購入できるように、乳幼児一人当たり3万8000円の商品券を保健センター窓口で子育ての状況聞きながらの交付をしています。